

平成24年度予算 新規・充実事業一覧

(単位：千円)

消 防 局 予 算 要 求 の 内 容			
事 業 名	事 業 概 要	要求額	所管課 電話番号
消防救急無線デジタル化整備	<p>携帯電話等の普及による電波の有効利用の観点などから電波法が改正されたことに伴い、現在の消防救急無線で使用しているアナログ通信方式による150MHz帯周波数を、デジタル通信方式による260MHz帯へ、使用期限である平成28年5月31日までに移行する必要があることから必要な整備を行う。</p> <p>平成24年度は、基幹系統である基地局等について更新を行い、その後順次災害現場で活用している消防無線や救急無線装置などの更新整備を実施し、平成27年度末の完成を目指す。【総事業費：25億円】</p>	100,000	総務部 庶務課 212-6635
消防指令システム更新整備	<p>平成10年度に運用を開始してから13年が経過し、システムの更新時期を迎えている消防指令システムについて、上記デジタル化整備と併せて整備を行うことにより、効率的な整備が可能となることから、更新整備を行う。</p> <p>平成24年度は、電源系統等について更新を行い、その後順次指令台や回線制御装置などの更新整備を実施し、平成26年度末の完成を目指す。【総事業費：24億円】</p>	400,000	総務部 庶務課 212-6635
市民防災センターの機能強化	<p>平成11年度に整備した京都市防災センター3階の体験施設について、経年の利用により老朽化が著しいことから、新たに水災害の啓発も兼ねた施設としてリニューアルし、市民への防災の更なる普及啓発を図る。</p>	100,000	総務部 庶務課 212-6635
京北消防ヘリポート（仮称）の整備	<p>京北地域においては、高度な医療を受ける救命救急センターなどの三次医療機関が付近にないことから、高度な医療措置を早期に受ける必要のある傷病者については、市街地の三次医療機関に搬送する必要がある。</p> <p>現在、京北地域では常時着陸可能な離着陸場が確保できていない現状であり、京北地域の救急救命体制の更なる向上、とりわけ、京北病院との連携強化を図る目的から、夜間の離着が可能な離着陸場を整備する。</p>	6,000	総務部 庶務課 212-6635
震災対応能力の充実	<p>東日本大震災へ緊急消防援助隊として活動した実績を踏まえ、本市が被災した場合の消防救助活動を迅速に実施し、市民の命を救うために必要な資器材を整備する。</p>	35,000	総務部 庶務課 212-6635
防災対策の総点検を踏まえた防災対策の推進	<p>東日本大震災の教訓を踏まえ、現在「防災対策総点検委員会」において本市の防災対策の総点検を実施しているところであり、予算要求に当たっては、同委員会の最終報告を踏まえ、地域防災計画（震災対策編）の改定や地域防災計画（原子力災害対策編）、避難所運営マニュアル及び京都市業務継続計画の策定、備蓄器材の充実など本市の防災力の向上に資する事業について計上予定である。</p>	算定中	総務部 庶務課 212-6635
消 防 局 合 計		641,000	